



四日市市自治会連合会

四自連だより

発行

H31年3月31日発行

【編集・発行】

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第21号



ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

平素は、自治会活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

2019年は、「平成」が終わり、5月からは新元号となり新しい時代が始まります。

皆さんご存知のように「平成」は、地震、台風、豪雨、豪雪、火山噴火等多くの災害が起きました。甚大な被害のあった平成の災害の教訓に、「地域の絆」という言葉が多く聞かれました。次の時代でも引き続き「地域の絆」を強固なものにしていくことが、

防災、減災にも繋がると思っています。

皆さんそれぞれの住んでみえる町には必ず自治会があり、行政と地域を結んでいます。

自治会に加入することは、強制するものではありませんが、「遠くの親戚より近くの他人」ということわざもあるように、住んでいるまちの絆づくりに、地域のお祭りや文化祭、高齢者や子どもの見守りなど、地域活動は快適で安心・安全なまちづくりを行っています。

四日市市は、2020年から新しい総合計画を策定します。その中のキーワードに安全・安心は必ず入ってきます。

今年は、計画を作る重要な年となり、10年後の四日市が、課題を乗り越え輝き続けているために、将来の都市像を、皆で考え意見を反映させていけるよう、色々な場所で話し合う機会が予定されています。

6月から始まる市長のタウンミーティングでも、新総合計画をテーマに、各地区連合自治会が協力し、市民センターで順次開催されます。

お住まいの地区に市長が出向いて、将来の四日市について、地域の課題や提案を直接話せる良い機会です。今回は、開催される市民センターの地区内の方限定で発言していただきますので、総合計画についてご意見のある方はぜひご参加ください。（開催は、市のホームページに掲載されます。）

最後に、日常生活で起こる様々な課題が“地域の絆”でカバーしていけるように、今後も自治会活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

第21号の おもな内容

- 先進地視察研修／知事懇談会 P2,3
- 情報交換会／郷土が誇る芸能大会 P4~8

先進地視察研修

平成30年10月3日（水）伊勢市で先進地視察研修いたしました。

伊勢市は、2016年に消防本部庁舎に防災センターを併設した施設を開設し、視察研修に訪れる人が多いと聞いていました。防災センターは、コンパクトにまとまっていて四日市にもこういう施設があれば、大人から子どもまで防災意識が高まるから、必要だという意見がありました。

【見学先】

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 磯町津波避難施設（マウンド）見学 | 伊勢市磯町 TEL 0596-21-5523 |
| 2. 伊勢赤十字病院見学 | 伊勢市船江1-472-1 TEL 0596-28-2171 |
| 3. 伊勢市防災センター・消防本部見学 | 伊勢市藤里町岩ヶ崎691-1 TEL 0596-25-5719 |
| 4. 伊勢神宮正式参拝 | 伊勢市宇治館町1 TEL 0596-26-1111 |

【磯町津波避難施設（マウンド）】

伊勢市では、巨大地震に備え、平成25年から市内沿岸部に8基の津波避難施設を建設。

磯町津波避難施設は、平成29年3月に完成し、土を盛って高台を築く「マウンド式」人口高台方式の施設です。

避難者数 600名収容可能 2階フロアは、津波に対応できるように約8mの高さがあります。



【伊勢赤十字病院】

伊勢赤十字病院は、明治37年2月、日本赤十字社三重支部山田病院として開設されて以来、三重県中南勢地域における基幹病院としての役割を果たすため診療体制・高度医療機器等の整備の充実を図り、地域住民に対し必要な医療を提供しています。

赤十字病院の特色として、一般医療に貢献することはもとより、医療救護体制の整備、地域住民のニーズにもとづく離島のガン健診、市町村の保健衛生事業への協力、健康・病気についての啓発活動（赤十字健康大学の開催）、医療相談など、地域住民を対象とした多様な保健医療活動を展開しています。

設備そのものも、立派でしたが、働きやすい環境づくりがしっかりとできていました。

建物の特徴として、来院者が通る廊下と病院職員が通る廊下とが別で作られており、職員が通る廊下には来院者がいないので職員同士が話しながら歩けたり、3～5階には職員が使えるミーティングのスペースや休憩スペースも設けられ、拘りを持って建築設計されたそうです。三次救急も受け入れており、屋上にドクターヘリポートがあります。



広い職員用通路



職員休憩スペース

【伊勢市消防本部・伊勢市防災センター】

2016年に倉田山公園に伊勢市消防本部庁舎と伊勢市防災センターが完成しました。消防本部庁舎は、119番通報の受け付けや消防隊への出動指令を処理するための最新鋭の「高機能消防指令システム」および「デジタル消防救急無線システム」や、出動準備室を設けるなどし、消防活動の迅速化・強化が図られています。

伊勢市防災センターは、防災について、子どもから大人まで楽しく学べる体験型学習施設です。1階-防災倉庫、2階-防災研修室、3階-防災体験学習室、4階-防災多目的ホールとなっており、消防本部と防災センターの建物は併設されています。



三重県自治会連合会 知事懇談会

平成31年1月25日津市で、知事懇談会が開催されました。

県内13支部の役員があつまり、地域の課題を知事と意見交換しました。

四日市市は、三重県広域防災拠点の活用について中村副会長から知事に発言しました。

三重県の広域防災拠点は、平成13年に中勢拠点が開設され、続いて東紀州拠点、伊勢志摩拠点、伊賀拠点が整備され、今年5月に北勢拠点が整備されたことで、県内5地域6か所の拠点施設すべてが設置されました。

拠点施設では、災害時の部隊や物資の受入、移動先や分配先などの調整のほか、全被災のパターンを踏まえた各広域防災拠点の連携と役割の明確化が大変重要になります。

防災拠点施設が稼働しないことが最も良いことですが、近年多発する自然災害や、将来起こりうるであろう南海トラフ巨大地震等の災害に備え、県民にとって広域防災拠点がどのように活用されるのかを周知してほしいと要望しました。



医療法人 尚豊会 みたき総合病院

標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、緩和ケア内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科

診療時間 午前/9時00分~正午 午後/4時00分~6時00分

休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所 〒512-0911 四日市市生桑町菰池458番地1

電話 (059) 330-6000

URL <http://mitakihp.jp/>

Recruitment of bus drivers

三重交通ではバス運転手を募集しています。
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

三重交通株式会社

人事部 運転士採用係 0120-351-179 (平日 9:00~17:00)

情報交換会

平成31年2月27日に、毎年行っている「情報交換会」を開催しました。今回のテーマは、地域活動費事業の事例発表と取り組んだ中で、連合自治会とのかかわり方や、苦労された点を、中部地区、県地区、八郷地区の3地区に発表していただきました。

旧東海道PR作戦

発表者：浜田地区連合自治会会長 山路 和良

事例発表1

中部地区は、市内の中心部共同・同和・中央・浜田・港の5地区で形成され、旧東海道は共同と浜田の2地区に通っている。

「東海道はあるけれど、PRされていないね」と5連合の中で話が出て、中部地区全体で旧東海道を盛り上げていこうということになりました。

始まりは、平成25年に、市の観光交流課から東海道の木札を10枚配布されたのがきっかけでした。



平成29年度 館長権限予算での旧東海道PRの取り組み

平成29年度館長権限予算で旧東海道をPRする取り組みを行いました。その際「のぼり」と「法被 共同地区用、浜田地区用」「卓上ミニのぼり」を作成しました。のぼりは旧東海道沿いに立て、卓上ミニのぼりは旧東海道沿いのお店等に置いていただきました。

法被は、地域行事で着用したり、旧東海道沿いのお店等に飾っていただいています。



平成30年度 中部地区地域社会づくり推進会議ブロック事業

共同、同和、中央、港、浜田の五つの地区が中部地区として一つになって行う事業を「中部地区地域社会づくり推進会議ブロック事業」と呼んでいます。

今年度は『中部地区の東海道を歩いて見る知るまちのアレコレ』と題し、旧東海道を実際に歩く《東海道ウォーク》を含め、全3回シリーズで中部地区住民が旧東海道を学びました。

旧東海道沿いには多くの歴史があることがわかりました。特に浜田地区のあたりは四日市空襲の災禍を逃れており、歴史的建造物が多く残っていました。

中部地区には山車もたくさんあります。地区の歴史についてより知識を深めるためにも、今回の「旧東海道PR作戦」を踏まえて、今後は地区の祭にも目を向け、自分たちの住む地区をもっとよく知ることが出来るブロック事業につなげていきます。



第1回 講演会 四日市の誕生 道と町割りのこと

～四日市祭で担った各町の役割～【平成30年10月30日(火)】

地域の方の健康増進ならびに
高齢者福祉に貢献します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
四日市羽津医療センター
(旧 四日市社会保険病院)
四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000

北勢地域若者サポートステーション
就職におけたサポートをしています!!

- 対象 / 15才～39才までの無業状態にある方、ご家族・関係者も利用できます
- 相談日 / 火曜日～土曜日
- 開所時間 / 9:30～18:00
- お問い合わせ・お申し込み / TEL 059-359-7280 又は7281
- 住所 / 三重県四日市市諏訪栄町3-4 星座ビル2F
- E-mail / wakamono@hokusapo.com
- ホームページ / http://hokusapo.com
- 定休日 / 日・月・祝日、年末年始
- 運営団体 / NPO法人市民社会研究所



第1回目は、なやプラザにおいて講義を受けました。参加者27名が、スクール形式で前田憲司先生の話の話を聞きました

第2回 東海道ウォーク ～北町から南浜田町～

【平成30年11月25日(日)】

共同地区の北端、三滝川河川敷の陶板で前田先生の説明を受けたのち、参加者49名で東海道ウォークをスタートしました。



北町(共同地区)の端から 南浜田町(浜田地区)の端まで、約2キロの旧東海道を 歩きながら、途中で四日市 陣屋跡(現・四日市市立中 部西小学校)や旧黒川本陣 表門、東漸寺など、歴史的な建造物を見学し、前田先 生の解説に耳を傾けました。

第3回 道と町と祭と【平成31年1月8日(火)】

歩いてわかった四日市の今とこれから ～質疑応答と意見交換～

第3回は前田憲司先生を囲んで、第1回の講演会、第2回の東海道ウォークの総括をしました。質疑応答と意見交換、そして28名の参加者の皆さんからひとことずつ感想を頂きました。



旧東海道沿いには多くの歴史があることがわかりました。特に浜田地区のあたりは四日市空襲の災禍を逃れており、歴史的建造物が多く残っていました。

中部地区には山車もたくさんあります。地区の歴史についてより知識を深めるためにも、今回の「旧東海道PR作戦」を踏まえて、今後は地区の祭にも目を向け、自分たちの住む地区をもっとよく知ることができるブロック事業につなげていきます。

ふれあいの場づくり まちづくり

発表者：県地区連合自治会会長 小松 茂久

事例発表2

県地区では、地域活動費事業の1つとして、「2018 あがたお月見フェスタ(竹灯り)」を、平成30年10月26日にあがた地区市民センターで開催されました。

幻想的な竹灯りを見ながら 深まりゆく秋の夜長を楽しむ初めての試みでした。

個々が創作した作品に灯りをともし、幻想的な夜を表現したいと、一から竹灯籠を作り、ひとがたくさん集まるように、お月見ぜんざい・お月見芋・おにぎりをふるまいました。

その結果、約100名の参加者が楽しみました。

竹灯籠づくりの指導には、ベテランの桜地区館長に基礎的な技を教えてもらい、試行錯誤しながら、小松会長自ら汗をかき、竹灯籠を仕上げていきました。



【協力していただいた方々】
 グリーンパーク岡山を愛する会
 あがたグリーンガーデンの会
 地域住民(有志)
 庭園技師1級資格者(竹加工)

大切なあなたの大切な一日のはじまりに



TEL.059-352-0300 四日市市西新地 7-3
 platon.hotel プラトンホテル四日市

文部科学省 地(知)の拠点 文部科学省「COC事業」最終年度
これからも、地域とともに
 2014年度に文部科学省の採択を受けた「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」。今年度、いよいよ集大成を迎えます。産業と環境の調和をめざす四日市に拠点を置き、「産業振興」「環境」「人材育成」をテーマに、四日市大学はこれからも活力ある地域づくりへの貢献をめざします。
 学校法人 暁学園 YOKKAICHI UNIVERSITY 四日市大学
 COC事業専用サイト <https://coc.yokkaichi-u.ac.jp/>
 学生情報局サイト <https://coc.yokkaichi-u.ac.jp/gakusei/>
 [担当窓口] 社会連携センター TEL 059-340-1927

【資材準備・加工】

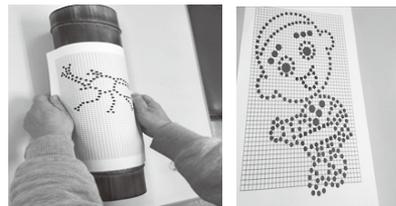
竹はもちろん地元里山特産の竹を使用し、(直径13cm×長さ35cm以上) 真竹

- ①竹の切出し → 良竹を選び、切出し・運搬
- ②竹の商品化 → 竹材の拭き掃除 節抜き・グラインダー掛け
- ③生竹の油抜き
→ バーナーであぶり、油を素早く 拭き取る。
- ④竹焼き仕上げ
→ バーナーであぶり、美しい光沢を出す。
- ⑤布で磨きかけ 作品材料完成



【作品創作】

- ①規定用紙にそれぞれのデザイン図案を描く。
・植物、動物、花、風景、自然 等
- ②資材の竹に貼り付ける。
- ③電動ドリルに刃をつけ、図案の輪郭に沿って穴を開ける。
完成 …1本の作品で、約2時間所要
・竹の中へ電球を入れ灯りを灯す。
・LED 40Wを使用
・ベーク…電線と球をセット。



【効果】

ふれあいの場づくりの提供で 互いの交流、地域住民の輪が広がった!

- ①物づくり、作品の創作
竹とうろうづくりは精神統一、慎重さを欠くことなく満足感を得た
- ②一人2作品作成…慣れるに従い、もっと作りたいと意欲が湧いた
- ③創作品の行事開催で、作った人、見学参加者共の交流で大きな輪が広がった。
- ④2018 あがたお月見フェスタ(竹灯り) 小規模であったが、参加者約100名。

地域の地域活動事業の今後の取り組み

- ①行事のマンネリ化を防ぐ対策→新行事の取り入れ
- ②手間・暇の負担を最小限に抑える
- ③作品使用の行事は、良き協力団体を確保する。

今までの経験で連合会長が得た教訓…

☆声は大きく、態度は控えめ…

人を動かす時、言葉が肝心 自ら動き、やって見せる。



「市営式場」の家族葬を24時間365日受付中

株式会社 ふじや本店

光倫会館

☎0120-114248

【本社】四日市市松本町北大谷2015 北大谷斎場口
TEL:059-351-1151(代) FAX:059-351-4224

北勢地域で創業90年
ご要望に丁寧にお応えします。

ATKE

阿竹印刷工業株式会社
〒510-8016 四日市市富州原町14-24
TEL 059-365-3125

実践から学ぶ避難所運営

発表者：八郷地区連合自治会会長 谷口 富夫

事例発表3

八郷地区は、地域活動費事業の1つに、平成29年度から「男女共同参画の視線を取り入れた自主防災」をテーマにセミナーや避難所運営訓練を行っており、それらの取り組みの成果について「実践から学ぶ避難所運営」と題して、発表しました。

2年目にあたる平成30年度は、セミナーを受けた女性の方や、PTAや幼稚園の保護者に声掛けし、1回目は、女性の視点を取り入れた非常用持ち出し袋について話し合いました。また、2回目には、四日市市の指定避難所になっている八郷小学校・八郷西小学校の校舎を会場にして、要支援者に配慮した避難所配置図を作成するために、実際に空き教室をどのようにレイアウトすべきかについてワークショップを行いました。

【平成29年度】

・STEP1【防災セミナー】

平成29年12月6日（水）

- ・演題：『私たちが考える安全・安心な避難所づくり
～あなた自身と大切な家族、本当に守れますか?～』
- ・講師：浅野 幸子氏
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
- ・参加者数：61名（うち女性47名、女性参加率77%）

なにはともあれ、
まず、座学から



・STEP2【ワークショップ】

平成30年2月4日（日）

- ・テーマ：『避難所環境づくり訓練
～見直そう!工夫しよう!試してみよう!～』
- ・講師：浅野 幸子氏
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
- ・参加者数：30名（うち女性25名、女性参加率83%）

次に、
体験してみる!



【平成30年度】

・STEP3【ワークショップ】

平成30年11月17日（土）

- ・テーマ：『防災女子会』
- ・主催：八郷地区市民センター
- ・共催：四日市市北消防署北部分署 四日市市自治会連合会（事務局）
- ・参加者数：33名（うち女性25名、女性参加率76%）

気軽に
楽しく体験♪



・STEP4【ワークショップ】

平成30年12月15日（土）～16日（日）

- ・テーマ：『小学校施設を使った「避難所レイアウトづくり」』
- ・参加者数

八郷小学校会場：24名（うち女性21名、女性参加率88%）

八郷西小学校会場：29名（うち女性23名、女性参加率79%）

いざ、実践!!



福祉避難所ってご存知ですか？

「福祉避難所」とは、平常時は介護センター等の施設が、災害時に、要支援者を受け入れることとなっていますが、いずれも定員に余裕がなく、十分な対応ができないのが現状です。

したがって、教室をできるだけ開放してもらい避難所の中に介護室等のスペースをつくることは、長期的な避難生活をするのが難しい高齢者や障がいのある方にとって、たいへん重要なことだと感じました。

今回のワークショップでは、市、四日市市自治会連合会、自主防災組織連絡協議会が作成する避難所の案内プレートのモデル地区として、実際に案内プレートを配置する訓練も併せて行いました。



避難所の案内プレート



一連の取り組みを終えて…

いずれの講座も、女性の参加者が7割～8割を占め、多くの女性に学習と体験の機会を提供することができました。

講座への参加をきっかけとして、新たな気付きと意識改革がもたらされ、有意義であったとの趣旨の感想や、体験重視の講座内容を評価する声が多く聞かれました。

今回、住民と地区市民センターが十分に連携し、「防災」を切り口に女性の意見を聞くことができたことで、全く関心のなかった女性に防災への意識づけを行うことができました。

今後は、ワークショップで出た意見を基に、地区自主防災組織の避難所運営マニュアルにおいて配置図を作成するなど、必要な改正を行っていきたいと思います。

第8回 郷土が誇る芸能大会

1月20日に「郷土が誇る芸能大会」が四日市市文化会館で開催されました。

四日市市が開催したこの催しは、8回目を迎え、連合自治会からの推薦された12地区が一堂を会し、地域で大切に受け継いできた伝統芸能や趣向を凝らした芸能を演じあい、四日市の芸能の祭典が行われました。



《編集後記》

市内の、地域活動や四自連の事業等を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
TEL・FAX 059-354-8287